



APPENDIX

C

Catalyst 2950 および Catalyst 2955 スイッチ デバッグ コマンド

この付録では、Catalyst 2950 および Catalyst 2955 固有の **debug** 特権 EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立ちます。使用する場合には、必ずシスコのテクニカル サポート担当者の指示に従ってください。



注意

デバッグ出力は CPU プロセスで高プライオリティが割り当てられているため、デバッグ出力を行うとシステムが使用できなくなることがあります。したがって、**debug** コマンドを使用するのは、特定の問題のトラブルシューティング時、またはシスコのテクニカル サポート担当者とともにトラブルシューティングを行う場合に限定してください。**debug** コマンドは、ネットワーク トラフィックが少なく、ユーザも少ないときに使用するのが最良です。デバッグをこのような時間帯に行うと、**debug** コマンド処理のオーバーヘッドの増加によりシステムの使用に影響が及ぶ可能性が少なくなります。

debug auto qos

Automatic Quality of Service (auto-QoS) 機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug auto qos** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug auto qos

no debug auto qos

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

auto-QoS デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(12c)EA1	このコマンドが追加されました。
12.1(20)EA2	コマンドが debug autoqos から debug auto qos に変更されました。

使用上のガイドライン

auto-QoS がイネーブルのときに自動的に生成される QoS の設定を表示するには、auto-QoS をイネーブルにする前にデバッグをイネーブルにします。デバッグをイネーブルするには、**debug auto qos** 特権 EXEC コマンドを入力します。

undebug auto qos コマンドは、**no debug auto qos** コマンドと同じです。

例

次の例では、auto-QoS がイネーブルの場合に自動的に生成される QoS 設定を表示する方法を示します。

```
Switch# debug auto qos
AutoQoS debugging is on
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# interface fastethernet0/1
Switch(config-if)# auto qos voip cisco-phone
00:02:54:wrr-queue bandwidth 10 20 70 1
00:02:55:no wrr-queue cos-map
00:02:55:wrr-queue cos-map 1 0 1
00:02:56:wrr-queue cos-map 2 2 4
00:02:57:wrr-queue cos-map 3 3 6 7
00:02:58:wrr-queue cos-map 4 5
00:02:59:mls qos map cos-dscp 0 8 16 26 32 46 48 56
00:03:00:interface FastEthernet0/1
00:03:00: mls qos trust device cisco-phone
00:03:00: mls qos trust cos
```

関連コマンド

コマンド	説明
auto qos voip	QoS ドメイン内で Voice over IP (VoIP) の auto-QoS を設定します。
show auto qos	auto-QoS のイネーブル時に適用された設定および有効になる新しいデフォルトを表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』 > 「Cisco IOS System Management Commands」 > 「Troubleshooting Commands」 を選択してください。

debug dot1x

IEEE 802.1x 認証機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug dot1x** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug dot1x {all | errors | events | packets | registry | state-machine}

no debug dot1x {all | errors | events | packets | registry | state-machine}

構文の説明

all	すべての IEEE 802.1x 認証デバッグ メッセージを表示します。
errors	IEEE 802.1x エラー デバッグ メッセージをデバッグします。
events	IEEE 802.1x イベント デバッグ メッセージをデバッグします。
packets	IEEE 802.1x パケット デバッグ メッセージをデバッグします。
registry	レジストリ呼び出しデバッグ メッセージをデバッグします。
state-machine	ステートマシン関連イベントのデバッグ メッセージをデバッグします。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。
12.1(14)EA1	authsm 、 backend 、 besm 、 core 、および reauthsm キーワードは削除されました。 errors 、 events 、 packets registry 、および state-machine キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg dot1x コマンドは、**no debug dot1x** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』>「Cisco IOS System Management Commands」>「Troubleshooting Commands」を選択してください。
show dot1x	スイッチまたは指定されたインターフェイスの IEEE 802.1x 統計情報、管理ステータス、および動作ステータスを表示します。

debug etherchannel

EtherChannel/PAGP シムのデバッグをイネーブルにするには、**debug etherchannel** 特権 EXEC コマンドを使用します。このシムは、Port Aggregation Protocol (PAgP; ポート集約プロトコル) ソフトウェアモジュールとポートマネージャ ソフトウェアモジュール間のインターフェイスとなるソフトウェアモジュールです。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug etherchannel [**all** | **detail** | **error** | **event** | **idb**]

no debug etherchannel [**all** | **detail** | **error** | **event** | **idb**]

構文の説明

all	(任意) EtherChannel デバッグ メッセージをすべて表示します。
detail	(任意) EtherChannel デバッグ メッセージの詳細を表示します。
error	(任意) EtherChannel エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	(任意) 主な EtherChannel イベント デバッグ メッセージをデバッグします。
idb	(任意) PAgP インターフェイス記述子ブロック デバッグ メッセージをデバッグします。



(注)

linecard キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

キーワードを指定しない場合は、すべてのデバッグ メッセージが表示されます。

undebg etherchannel コマンドは、**no debug etherchannel** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』 > 「Cisco IOS System Management Commands」 > 「Troubleshooting Commands」を選択してください。
show etherchannel	チャネルの EtherChannel 情報を表示します。

debug lre

Catalyst 2950 Long-Reach Ethernet (LRE) スイッチおよびリンクのデバッグをイネーブルするには、**debug lre** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug lre [**controller** | **discovery** | **errors** | **profile** | **state** | **timing** | **upgrade**] [*interface-id*]

no debug lre [**controller** | **discovery** | **errors** | **profile** | **state** | **timing** | **upgrade**]
[*interface-id*]

このコマンドは、Catalyst 2950 LRE スイッチでのみ使用できます。

構文の説明

controller	(任意) スイッチ コントローラのデバッグ メッセージを表示します。
discovery	(任意) 顧客宅内装置 (CPE) 検出のデバッグ メッセージを表示します。
errors	(任意) エラー デバッグ メッセージを表示します。
profile	(任意) プロファイル デバッグ メッセージを表示します。
state	(任意) 有限状態マシン (FSM) デバッグ メッセージを表示します。
timing	(任意) タイミング デバッグ メッセージを表示します。
upgrade	(任意) アップグレード デバッグ メッセージを表示します。
<i>interface-id</i>	(任意) 指定したポートのデバッグ メッセージを表示します。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(11)YJ	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、スイッチ コンソールからのみ入力できます。

undebug lre コマンドは、**no debug lre** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show controllers lre status	スイッチ LRE ポートの LRE リンク統計情報およびプロファイル情報を表示します (リンク ステータス、リンク 接続時間、データ レート、信号対雑音比、および Reed Solomon エラーを含む)。

debug pagp

ポート集約プロトコル (PAgP) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug pagp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug pagp [all | event | fsm | misc | packet]

no debug pagp [all | event | fsm | misc | packet]

構文の説明

all	(任意) PAgP デバッグ メッセージをすべて表示します。
event	(任意) PAgP イベント デバッグ メッセージを表示します。
fsm	(任意) PAgP 有限ステート マシン デバッグ メッセージを表示します。
misc	(任意) 各種 PAgP デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) PAgP パケット デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug pagp コマンドは、**no debug pagp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』 > 「Cisco IOS System Management Commands」 > 「Troubleshooting Commands」を選択してください。
show pagp	PAgP チャネル グループ情報を表示します。

debug pm

ポート マネージャ (PM) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug pm** 特権 EXEC コマンドを使用します。PM は、すべての論理および物理インターフェイスを制御するステート マシンです。VLAN や Unidirectional Link Detection (UDLD; 単方向リンク検出) などを含むすべての機能は、ポート マネージャと連携して、スイッチに機能を提供します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug pm {all | assert | card | cookies | etherchnl | messages | port | registry | sm | span |
split | vlan | vp}
```

```
no debug pm {all | assert | card | cookies | etherchnl | messages | port | registry | sm | span |
split | vlan | vp}
```

構文の説明

all	すべての PM デバッグ メッセージを表示します。
assert	アサート デバッグ メッセージを表示します。
card	ラインカード関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
cookies	内部 PM クッキー検証デバッグ メッセージを表示します。
etherchnl	EtherChannel 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
messages	Host Access Table イベント デバッグ メッセージを表示します。
port	PM デバッグ メッセージを表示します。
registry	ポート関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
sm	PM レジストリ呼び出しデバッグ メッセージを表示します。
span	ステート マシン関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
split	スパンニングツリー関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
vlan	スプリットプロセッサ デバッグ メッセージを表示します。
vp	VLAN 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。



(注)

scp および **pvlan** キーワードはコマンドラインのヘルプ スtring に表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug pm コマンドは、**no debug pm** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』>「Cisco IOS System Management Commands」>「Troubleshooting Commands」を選択してください。

debug spanning-tree

スパニングツリー アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug spanning-tree {all | backbonefast | bpdu | bpdu-opt | config | csuf/csrt |
etherchannel | events | exceptions | general | mstp | pvst+ | root | snmp | switch |
synchronization | uplinkfast}
```

```
no debug spanning-tree {all | backbonefast | bpdu | bpdu-opt | config | csuf/csrt |
etherchannel | events | exceptions | general | mstp | pvst+ | root | snmp | switch |
synchronization | uplinkfast}
```



(注) csuf オプションは、スイッチではサポートされていません。

構文の説明

all	スパニングツリーのデバッグ メッセージをすべて表示します。
backbonefast	BackboneFast イベント デバッグ メッセージを表示します。
bpdu	スパニングツリー Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジ プロトコル データ ユニット) デバッグ メッセージを表示します。
bpdu-opt	最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージを表示します。
config	スパニングツリー設定変更デバッグ メッセージを表示します。
csuf/csrt	クロススタック UplinkFast アクティビティのデバッグ メッセージを表示します。
etherchannel	EtherChannel サポート デバッグ メッセージを表示します。
events	スパニングツリー トポロジ イベント デバッグ メッセージを表示します。
exceptions	スパニングツリー例外デバッグ メッセージを表示します。
general	一般的なスパニングツリー アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
mstp	Multiple Spanning-Tree Protocol (MSTP) イベントをデバッグします。
pvst+	Per-VLAN Spanning-Tree Plus (PVST+) イベント デバッグ メッセージを表示します。
root	スパニングツリー ルート イベント デバッグ メッセージを表示します。
snmp	スパニングツリー Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 処理デバッグ メッセージを表示します。
switch	スイッチ シム コマンド デバッグ メッセージを表示します。このシムは、一般的な Spanning-Tree Protocol (STP; スパニングツリー プロトコル) コードと、各スイッチ プラットフォーム固有コードとの間のインターフェイスとなるソフトウェア モジュールです。
synchronization	スパニングツリー同期イベント デバッグ メッセージを表示します。
uplinkfast	UplinkFast イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。
	12.1(9)EA1	mstp および csuf/csrt キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン `undebug spanning-tree` コマンドは、`no debug spanning-tree` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』>「Cisco IOS System Management Commands」>「Troubleshooting Commands」を選択してください。
	<code>show spanning-tree</code>	スパニングツリー ステータス情報を表示します。

debug spanning-tree backbonefast

スパニングツリー BackboneFast イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree backbonefast** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree backbonefast [detail | exceptions]

no debug spanning-tree backbonefast [detail | exceptions]

構文の説明

detail	(任意) BackboneFast デバッグ メッセージの詳細を表示します。
exceptions	(任意) スパニングツリー BackboneFast 例外のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug spanning-tree backbonefast コマンドは、**no debug spanning-tree backbonefast** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』 > 「Cisco IOS System Management Commands」 > 「Troubleshooting Commands」 を選択してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステータス情報を表示します。

debug spanning-tree bpdu

送受信されたスパニングツリー Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジ プロトコル データ ユニット) のデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree bpdu** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree bpdu [receive | transmit]

no debug spanning-tree bpdu [receive | transmit]

構文の説明

receive	(任意) 受信 BPDU 用非最適化パスのデバッグ メッセージを表示します。
transmit	(任意) 送信 BPDU デバッグ メッセージの非最適化パスを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug spanning-tree bpdu コマンドは、**no debug spanning-tree bpdu** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1 』 > 「 Cisco IOS System Management Commands 」 > 「 Troubleshooting Commands 」を選択してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステータス情報を表示します。

debug spanning-tree bpdu-opt

最適化されたスパニングツリー Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジプロトコルデータユニット) 処理のデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree bpdu-opt** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree bpdu-opt [detail | packet]

no debug spanning-tree bpdu-opt [detail | packet]

構文の説明

detail	(任意) 最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージの詳細を表示します。
packet	(任意) パケット レベルの最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg spanning-tree bpdu-opt コマンドは、**no debug spanning-tree bpdu-opt** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』 > 「Cisco IOS System Management Commands」 > 「Troubleshooting Commands」 を選択してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree mstp

マルチ スパニングツリー プロトコル (MSTP) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree mstp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree mstp {all | boundary | bpdu-rx | bpdu-tx | errors | flush | init | migration | pm | proposals | region | roles | sanity_check | sync | tc | timers}

no debug spanning-tree mstp {all | boundary | bpdu-rx | bpdu-tx | errors | flush | init | migration | pm | proposals | region | roles | sanity_check | sync | tc | timers}

構文の説明

all	MSTP デバッグ メッセージをすべて表示します。
boundary	次に示す境界上でのフラグ変更デバッグ メッセージを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> Multiple Spanning-Tree (MST) リージョンと、Rapid Spanning-Tree Protocol (RSTP; 高速スパニングツリー プロトコル) が稼働する単一のスパニングツリー リージョンとの境界 MST リージョンと、IEEE 802.1D が稼働する単一のスパニングツリー リージョンとの境界 MST リージョンと、設定が異なる別の MST リージョンとの境界
bpdu-rx	受信 MST Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジ プロトコル データ ユニット) のデバッグ メッセージを表示します。
bpdu-tx	送信 MST BPDU のデバッグ メッセージを表示します。
errors	MSTP エラーのデバッグ メッセージを表示します。
flush	ポートフラッシング メカニズムのデバッグ メッセージを表示します。
init	MSTP データ構造初期化のデバッグ メッセージを表示します。
migration	プロトコル移行ステート マシンのデバッグ メッセージを表示します。
pm	MSTP ポートマネージャ イベントのデバッグ メッセージを表示します。
proposals	指定スイッチのデバッグ メッセージとルート スイッチのデバッグ メッセージ間のハンドシェイク メッセージを表示します。
region	スイッチ プロセッサ (SP) のデバッグ メッセージとルート プロセッサ (RP) のデバッグ メッセージ間のリージョン同期を表示します。
roles	MSTP ロールのデバッグ メッセージを表示します。
sanity_check	受信された BPDU の健全性チェックのデバッグ メッセージを表示します。
sync	ポート同期イベントのデバッグ メッセージを表示します。
tc	トポロジ変更通知イベントのデバッグ メッセージを表示します。
timers	開始、停止、および期限切れイベントの MSTP タイマーのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

■ debug spanning-tree mstp

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(9)EA1	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg spanning-tree mstp コマンドは、no debug spanning-tree mstp コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』 > 「Cisco IOS System Management Commands」 > 「Troubleshooting Commands」 を選択してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree switch

スパニングツリー プロトコル (STP) ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のソフトウェア インターフェイスのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree switch** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug spanning-tree switch {all | errors | general | helper | pm | rx {decode | errors | interrupt | process} | state | tx [decode]}
```

```
no debug spanning-tree switch {all | errors | general | helper | pm | rx {decode | errors | interrupt | process} | state | tx [decode]}
```

構文の説明

all	スパニングツリー スイッチのデバッグ メッセージをすべて表示します。
errors	スパニングツリー ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のインターフェイスに関するデバッグ メッセージを表示します。
general	一般イベント デバッグ メッセージを表示します。
helper	スパニングツリー ヘルパー タスク デバッグ メッセージを表示します。ヘルパー タスクは大容量スパニングツリー更新を処理します。
pm	ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
rx	受信した Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジ プロトコル データ ユニット) 処理のデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • decode : デコード済み受信パケットを表示します。 • errors : 受信エラー デバッグ メッセージを表示します。 • interrupt : Interrupt Service Request (ISR; 割り込みサービス要求) デバッグ メッセージを表示します。 • process : 処理受信 BPDU デバッグ メッセージを表示します。
state	スパニングツリー ポート ステート変更のデバッグ メッセージを表示します。
tx [decode]	送信された BPDU 処理のデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • decode : (任意) デコードされた送信パケットを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。
12.1(9)EA1	helper キーワードが追加されました。

■ debug spanning-tree switch

使用上のガイドライン `undebg spanning-tree switch` コマンドは、`no debug spanning-tree switch` コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』 > 「Cisco IOS System Management Commands」 > 「Troubleshooting Commands」 を選択してください。
<code>show spanning-tree</code>	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree uplinkfast

スパニングツリー UplinkFast イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree uplinkfast** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree uplinkfast [exceptions]

no debug spanning-tree uplinkfast [exceptions]

構文の説明

exceptions (任意) スパニングツリー UplinkFast 例外のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug spanning-tree uplinkfast コマンドは、**no debug spanning-tree uplinkfast** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』 > 「Cisco IOS System Management Commands」 > 「Troubleshooting Commands」を選択してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステータス情報を表示します。

debug switch dhcp

DHCP イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug switch dhcp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug switch dhcp

no debug switch dhcp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(19)EA1	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug switch dhcp コマンドは、**no debug switch dhcp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show ip dhcp snooping	DHCP スヌーピング設定を表示します。
show ip dhcp snooping binding	DHCP スヌーピング バインディング情報を表示します。

debug sw-vlan

VLAN マネージャのアクティビティのデバッグをイネーブルするには、**debug sw-vlan** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan {badpmcookies | cfg-vlan {bootup | cli} | events | ifs | management |
notification | packets | registries | vtp}
```

```
no debug sw-vlan {badpmcookies | cfg-vlan {bootup | cli} | events | ifs | management |
notification | packets | registries | vtp}
```

構文の説明

badpmcookies	不良ポート マネージャ クッキーの VLAN マネージャ インシデントのデバッグ メッセージを表示します。
cfg-vlan {bootup cli}	config-vlan デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> bootup : スイッチがブートアップするときにメッセージを表示します。 cli : コマンドライン インターフェイス (CLI) が config-vlan モードである場合のメッセージを表示します。
events	VLAN マネージャ イベントのデバッグ メッセージを表示します。
ifs	debug sw-vlan ifs コマンドを参照してください。
management	内部 VLAN の VLAN マネージャ管理のデバッグ メッセージを表示します。
notification	debug sw-vlan notification コマンドを参照してください。
packets	パケット処理およびカプセル化プロセスのデバッグメッセージを表示します。
registries	VLAN マネージャ レジストリのデバッグ メッセージを表示します。
vtp	debug sw-vlan vtp コマンドを参照してください。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。
12.1(9)EA1	cfg-vlan キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug sw-vlan コマンドは、**no debug sw-vlan** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』 > 「Cisco IOS System Management Commands」 > 「Troubleshooting Commands」 を選択してください。
<code>show vlan</code>	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。
<code>show vtp</code>	VTP 管理ドメイン、ステータス、およびカウンタに関する一般情報を表示します。

debug sw-vlan ifs

VLAN マネージャ Cisco IOS File System (IFS) エラー テストのデバッグをイネーブルにするには、**debug sw-vlan ifs** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan ifs {open {read | write} | read {1 | 2 | 3 | 4} | write}
```

```
no debug sw-vlan ifs {open {read | write} | read {1 | 2 | 3 | 4} | write}
```

構文の説明

open {read write}	VLAN マネージャ IFS ファイルオープン操作デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> read : VLAN マネージャ IFS ファイル読み取り動作のデバッグ メッセージを表示します。 write : VLAN マネージャ IFS ファイル書き込み操作デバッグ メッセージを表示します。
read {1 2 3 4}	指定されたエラー テスト (1、2、3、または 4) に関するファイル読み取り動作のデバッグ メッセージを表示します。
write	ファイル書き込み動作のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ファイルの読み取り処理に処理 **1** を選択すると、ヘッダー検証ワードおよびファイルバージョン番号が格納されたファイル ヘッダーが読み込まれます。処理 **2** を指定すると、ドメインおよび VLAN 情報の大部分が格納されたファイル本体が読み取られます。処理 **3** を指定すると、Type Length Version (TLV) 記述子構造が読み取られます。処理 **4** を指定すると、TLV データが読み取られます。

undebug sw-vlan ifs コマンドは、**no debug sw-vlan ifs** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』>「Cisco IOS System Management Commands」>「Troubleshooting Commands」を選択してください。
show vlan	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。

debug sw-vlan notification

スイッチ間リンク（ISL）VLAN ID のアクティブ化および非アクティブ化のデバッグをイネーブルにするには、**debug sw-vlan notification** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan notification {accfwdchange | allowedvlanfcfgchange | fwdchange |
linkchange | modechange | pruningfcfgchange | statechange}
```

```
no debug sw-vlan notification {accfwdchange | allowedvlanfcfgchange | fwdchange |
linkchange | modechange | pruningfcfgchange | statechange}
```

構文の説明

accfwdchange	集約アクセス インターフェイス スパニングツリー転送変更に関する VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
allowedvlanfcfgchange	許可 VLAN の設定変更に関する VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
fwdchange	スパニングツリー転送変更に関する VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
linkchange	インターフェイス リンクステート変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
modechange	インターフェイス モード変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
pruningfcfgchange	プルーニング設定変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
statechange	インターフェイス ステート変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug sw-vlan notification コマンドは、**no debug sw-vlan notification** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』>「Cisco IOS System Management Commands」>「Troubleshooting Commands」を選択してください。
<code>show vlan</code>	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。

debug sw-vlan vtp

VLAN トランッキング プロトコル (VTP) コードのデバッグをイネーブルにするには、**debug sw-vlan vtp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan vtp {events | packets | pruning [packets | xmit] | xmit}
```

```
no debug sw-vlan vtp {events | packets | pruning [packets | xmit] | xmit}
```

構文の説明

events	汎用の論理フローのデバッグ メッセージおよび VTP コード内の VTP_LOG_RUNTIME マクロによって生成された VTP メッセージの詳細を表示します。
packets	Cisco IOS VTP プラットフォームに依存するレイヤから VTP コードに渡されたすべての着信 VTP パケット (プルーニング パケットを除く) の内容のデバッグ メッセージを表示します。
pruning [packets xmit]	VTP コードのプルーニング セグメントによって生成されるデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> packets : (任意) VTP プラットフォームに依存するレイヤから VTP コードに渡されたすべての着信 VTP プルーニング パケットの内容のデバッグ メッセージを表示します。 xmit : (任意) VTP コードが Cisco IOS VTP プラットフォーム依存層に送信するように要求したすべての発信 VTP パケットの内容のデバッグ メッセージを表示します。
xmit	VTP コードが VTP プラットフォームに依存するレイヤに送信するように要求したすべての発信 VTP パケット (プルーニング パケットを除く) の内容のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

pruning キーワードの後にパラメータを指定しない場合は、VTP プルーニング デバッグ メッセージが表示されます。これらのメッセージは、VTP プルーニング コード内の VTP_PRUNING_LOG_NOTICE、VTP_PRUNING_LOG_INFO、VTP_PRUNING_LOG_DEBUG、VTP_PRUNING_LOG_ALERT、および VTP_PRUNING_LOG_WARNING マクロによって生成されます。

undebug sw-vlan vtp コマンドは、**no debug sw-vlan vtp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』>「Cisco IOS System Management Commands」>「Troubleshooting Commands」を選択してください。
<code>show vtp</code>	VTP 管理ドメイン、ステータス、およびカウンタに関する一般情報を表示します。

debug udld

Unidirectional Link Detection (UDLD; 単方向リンク検出) 機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug udld** 特権 EXEC コマンドを使用します。UDLD デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug udld {events | packets | registries}
```

```
no debug udld {events | packets | registries}
```

構文の説明

events	UDLD プロセス イベントが発生したときのデバッグ メッセージを表示します。
packets	UDLD プロセスがパケット キューからパケットを受信し、UDLD プロトコル コードの要求に回答してそれらを送信するときに、このプロセスのデバッグ メッセージを表示します。
registries	UDLD プロセスが UDLD プロセスに依存するモジュールおよびその他のフィーチャモジュールからのレジストリ コールを処理するときに、このプロセスのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.1(6)EA2	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

debug udld events を入力すると、次に示すデバッグ メッセージが表示されます。

- 一般的な UDLD プログラム論理フロー
- ステート マシンのステート変更
- errdisable ステートの設定および消去のプログラム アクション
- ネイバー キャッシュの追加および削除
- コンフィギュレーション コマンドの処理
- リンクアップおよびリンクダウン通知処理

debug udld packets を入力すると、次に示すデバッグ メッセージが表示されます。

- 着信パケット受信時の一般的なパケット処理プログラム フロー
- 受信したパケットをパケット受信コードで調べるときの、各パケットの内容の識別情報 (Type Length Version (TLV) など)
- パケット送信の試行内容およびその成果

debug udld registries を入力すると、次に示すカテゴリのデバッグ メッセージが表示されます。

- サブブロックの作成

- ファイバポート ステータスの変更
- ポート マネージャ ソフトウェアからのステート変更通知情報
- MAC アドレス レジストリ コール

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference For IOS Release 12.1』>「Cisco IOS System Management Commands」>「Troubleshooting Commands」を選択してください。
show uddl	すべてのポートまたは指定されたポートの UDDL の管理ステータスおよび動作ステータスを表示します。

■ debug udd